「雷の疑問56
みんなが知りたいシリーズ⑯」

鴨川　仁・吉田　智・森本健志　著
成山堂書店，2021年８月
240頁，1,980円（税込）
ISBN 978-4-425-98391-9

雷と聞いて，みなさんはどんな印象を持たれるだろうか？暗い空に一瞬だけ光る美しく雄大な現象と思われる方が多いのではないだろうか．また一方で，とてつもないエネルギーを持った現象なため，怖いと思われる方，落雷被害の面から厄介な現象だと思われる方もおられることだろう．本書は，そんな様々な視点を持った方たちが知りたいと思う雷の疑問を56個に厳選して，丁寧かつ分かり易く解説している．

第１章「雷の正体」では，雷とは何か？や雷の種類といった，雷の基本的な説明から始まり，「雷が始まるきっかけ」，「雷の光っている場所はどうなっているのか」，「雷がジグザグする理由」など，誰もが一度は疑問に思ったものの，実はよく知らないことについて分かり易く解説している．第２章では，稲光や雷鳴など雷の特徴について説明している．例えば雷鳴については，雷鳴が発生するしくみや雷鳴が聞こえる距離の解説に加えて，その伝わり方や種類にまで踏み込んで解説している．雷鳴の伝わり方や雷鳴の種類は，知らない方が多いのではないだろうか．このように，本書は他の本では書かれていないような詳しい情報と解説が随所に見られ，読者を雷の魅力に惹き込んでいく．第３章「各地のさまざまな雷」では，日本や世界の雷，さらには他の惑星の雷について解説している．日本の雷の特徴の一つとして，昔と比べて雷は増えているのか？についての解説がある．極端気象が増えている昨今，雷が増えているのかどうかは，みなさん気になるところではないだろうか．本書では，気象庁の観測データが無い時代の雷情報を古文書から読み解いた，約350年間の雷の変動を紹介している．

第４章「雷から身を守る，モノを守る」では，雷が人に落ちたらどれほど危険なのか，また，屋内外のさまざまな状況において雷による危険を回避する方法について，具体的にわかりやすい図を用いて説明している．人だけでなくモノに対しても落雷被害に遭わないための対策が解説されている．この章の内容は，実生活でとても役立つ情報なので，みなさんに備えとして一読されることをお勧めしたい．

第５章「雷に関するいろいろな技術」では，雷の観測，予測技術のほか，狙ったところに雷を落とせるのか？といった雷の制御について解説している．著者らは雷観測測器を自ら開発する研究者なので，この章は特に研究の経緯が詳細で興味深い内容が盛り込まれている．最後に，第６章では，雷にまつわる歴史と文化について，４つの疑問を解説している．雷を用いた言葉の多さの解説など，如何に私たちの生活と雷が密接につながっているかを改めて実感できる内容である．

本書の特色として，各疑問に図や写真が掲載されていること，12個の関連動画のQRコードが掲載されており，動画を視聴すればさらに理解が深まる仕組みになっている点が挙げられる．巻末に参考文献が掲載されているので，本書の内容をより詳しく知りたい場合には，原著論文を辿れるようになっている．また，本文に出てくる言葉で，別の頁で詳しく説明している場合は，どの疑問の中で詳しく記載しているのか案内があるため，興味を持った内容から読み進められるようになっている．さらに，章と章の間にはコラムが織り込まれている．コラムの内容は，雷のギネス記録や日本最古の避雷針といった，読んだ後に，つい人に話したくなるような楽しい話題ばかりである．

著者らは，読者の対象を高校生，雷研究をしている学生，気象や電力関連の専門家といった幅広い人に向けて本書を執筆している．本書の文面からは，「雷」の科学的・文化的な魅力を伝えるだけでなく，雷の脅威から多くの人やモノを守りたいという著者らの強い思いが伝わってくる．一人でも多くの人に本書を手に取っていただき，雷の魅力や防災を人に伝える専門家が増えるとともに，雷に興味を持つ方，雷から身やモノを守られる方が増えることを願っている．

（防災科学技術研究所　櫻井南海子）

© 2023　日本気象学会